

新規公開資料について

二〇二四年九月十三日より、「関正献資料」五〇点を公開した。

本資料は、二〇二三年に関正哉氏より寄贈を受けたものである。原所蔵者の関正献氏は、一九二七年（昭和二）に東京帝国大学法学部を卒業した後、三井鉱山の関係会社である松島炭鉱に入社し、一九三四年から三井鉱山本店（調査部、後の労務部）に在籍した。本資料の大半は、同氏の手元に残されていた一九二七年から一九四一年にかけての労務関係資料で、左記のとおり、松島炭鉱時代のものと三井鉱山本店時代のものに分けられる。

（一）松島炭鉱関係

松島炭鉱の共済会、健康保険組合、共愛組合に関する資料、鉱夫に関する統計表などがある。また、鉱夫募集や安全運動の資料も含まれている。

（二）三井鉱山本店関係

鉱夫・職員の給与や退職手当に関する記録のほか、健康保険組合、共愛組合の資料などがある。

資料はデジタルデータ画像での閲覧となる。